

# お知らせ

平成20年7月23日  
東北電力(株)

## 女川原子力発電所1号機の原子炉再循環系配管の点検状況について

当社、女川原子力発電所1号機(沸騰水型軽水炉、定格電気出力52万4千キロワット)は、平成20年2月14日から実施している第18回定期検査において、原子炉再循環系配管等の溶接継手部<sup>1</sup>のうち、47箇所について、応力腐食割れ対策<sup>2</sup>を行う前の検査として超音波探傷検査<sup>3</sup>を実施しております。

本日までに29箇所の検査を実施した結果、1箇所の溶接継手部に長さ27mm、深さ3.8mmのひびを確認しました。

今後、残りの溶接継手部についても、超音波探傷検査を継続して実施してまいります。

なお、ひびが確認された配管の対応については、総合的に検討してまいります。

以上

- 1 今回の定期検査において超音波探傷検査を実施するのは53箇所。そのうち、47箇所について、今回、応力腐食割れ対策を行う予定であり、残り6箇所は過去に応力腐食割れ対策を実施済み。
- 2 応力腐食割れ対策  
配管内面を通水冷却しながら、配管に巻きつけたコイルで外面を加熱すること(高周波誘導加熱法)で引張り残留応力(溶接時の熱の影響により配管自体に残る応力)を低減したり、または配管内面を耐食性のある材料で覆うこと。
- 3 超音波探傷検査  
配管材料中の欠陥を検出するための検査で、欠陥の有無により超音波の跳ね返り(エコー)が違ふことを利用した検査。

(別紙)

- 1 . 原子炉再循環系系統図
- 2 . 原子炉再循環系配管等点検箇所および超音波探傷検査結果